

電通 PRC が LGBTQ+ への取り組み評価「PRIDE 指標」でシルバー受賞

株式会社電通 PR コンサルティング（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：牧口征弘、以下、電通 PRC）は、職場における LGBTQ など性的マイノリティー（以下、LGBTQ+）への取り組みに関する評価指標を定めた「PRIDE 指標 2022」において「シルバー」を受賞しました。同指標は企業などの団体において、LGBTQ+に関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する任意団体「work with Pride」（注1）が2016年に策定したものです。「work with Pride」は、以下の五つの指標に基づく項目で企業や団体を評価し、各項目における得点に応じて、「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」を認定しています。当社が同指標にエントリーするのは今年が2回目です。

1. Policy（行動宣言）
2. Representation（当事者コミュニティ）
3. Inspiration（啓発活動）
4. Development（人事制度、プログラム）
5. Engagement/Empowerment（社会貢献・渉外活動）

電通 PRC では、LGBTQ+に関する社員の勉強会の開催、人事担当者の研修受講、社員の意識調査の実施、法律の専門家による相談窓口設置の他、一般社団法人 Famiee（注2）の活動への賛同、プロボノサポートなどを通し、同性婚を含む多様な家族形態の在り方への理解を広げる活動を行っています。2022年にはLGBTQ+の当事者をアドバイザーとして迎え、社員の有志がアライ（LGBTQ+理解者）ネットワークを設立しました。

電通 PRC の代表取締役社長執行役員 牧口征弘は「福利厚生制度の改定を含め、まだまだ取り組むべき課題は多数あります。これからも、性的指向や性自認にかかわらず、誰もが自分らしく働け、個々人の能力を生かすことのできる職場環境・風土づくりに取り組んでまいります」と述べています。

（注1）任意団体「work with Pride」：<https://workwithpride.jp/>

（注2）一般社団法人 Famiee：<https://www.famiee.com/>

work with Pride



株式会社電通 PR コンサルティング

電通 PR コンサルティングは 1961 年の創立以来、国内外の企業・政府・自治体・団体の戦略パートナーとして、レピュテーション・マネジメントをサポートしています。総勢約 300 人の社員が、データ分析、そしてそこから得られたインサイトに基づくコンテンツ開発と最適な情報流通デザインを通して、クライアントと共にソーシャルイノベーションへの貢献を目指しています。2009 年、2015 年には、日本国内で最も優れた PR 会社に贈られる「ジャパン・コンサルタンシー・オブ・ザ・イヤー」を、2018 年には、「北アジア PR コンサルタンシー・オブ・ザ・イヤー」を PRovoke Media (旧 Holmes Report) から授与されています。また、2019 年には国際 PR 協会の「ゴールデン・ワールド・アワーズ・フォー・エクセレンス」でグランプリを受賞しました。